「神流川源流」が「平成の名水百選」に選ばれました

平成２０年６月５日
上野村　企画財政課　観光推進室

環境省が６月４日発表した「平成の名水百選」に上野村の「神流川源流」が選ばれました。

神流川は国土交通省の水質調査により、平成１６～１８年度と３年連続関東一きれいな川として認定されていて、その中でも上野村内を流域とした神流川の最も清らかな上流部「神流川源流」が選定されました。

上野村は昭和６３年より生活雑排水処理対策に取り組んで、合併浄化槽の設置を進めており、河川水質向上の効果が顕著に現れています。また、上野村漁協では「清流・神流川に癒しの空間を創出する」を基本理念とし、川の保全活動、川魚の放流、釣り場の整備等を行っています。村内各地区による河川清掃活動、小中学校による川原のゴミ拾いや、「乙父のおひながゆ」「神流川のお川瀬下げ神事」など川にまつわる伝統行事も代々引き継がれていることなど、川に係わる活動が評価され今回の選定となりました。

６月２５日には、「平成の名水百選」認定書交付式が東京都の清澄庭園大正記念館にて行われ、環境大臣より上野村長へ認定書が手渡されます。

＊「平成の名水百選」とは

環境問題が主要議題となる７月の洞爺湖サミットに向け、水の大切さを再認識してもらおうと鴨下一郎環境大臣が昨年１２月に新たに選定すると発表。１９８５年に旧環境庁が選び“百選ブーム”の先駆けとなった昭和の名水百選はそのまま残し、周辺環境や地元での保全活動、水源にまつわる故事などから名水を新たに選んだ。